

まちの 保険屋さん



まちにゅーす

保障も運用も保険でひとつに



1915年（大正4年）、大正天皇即位を記念して募集された超長期の「**100年定期預金**」。利率はなんと**6%**で、**1円預けると100年後に339円になる**という、お宝定期でした。その頃は第一次世界大戦で輸出が伸び、好景気だったといわれています。当時の小学校教員の初任給は10～20円程度でした。

100年定期が満期となり、証書を受け継いだ孫が銀行に問い合わせしたところ、「**解約しても額面金額しかお受け取りいただけません**」という回答でした。100年という長い歳月をかけたのに、すずめの涙にしかならなかったのです。

給料は上がり、金利は下がり、物価上昇が続く中、預金だけではリスクがあります。今後、物価は上昇傾向にあるため実質の資産価値が目減りする可能性があります。**現在の普通預金金利は0.001%、定期預金金利は0.002%です。「預金していれば減らないから安心」という時代ではなくなりました。**

NISAやiDeCoなどの非課税制度は、税制上の恩恵を受けられる一方、将来に向けて大きな資金を準備するのに限界があるかもしれません。

万が一の保障・運用を変額保険で！

- ◆**万が一の時**の保障
- ◆**がんなどの大きな病気**になった時の保障
- ◆**学資・老後**など将来に向けた資金準備

人生100年時代。例えば、65歳まで働いて退職した後もその先には長い老後生活が待っています。変額保険では、そんな長い老後生活を見据えて無理のない保険料で長期投資ができます。万が一の時の安心、がんなどの大きな病気への備えとともに将来に向けた資産づくりを、今から始めてみませんか？

詳しく知りたい方は、右のQRコードを読み取り、動画をご覧ください。



家族みんなのケガに備える



5月8日から新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、少しずつ前の生活に戻ってきたように感じられます。気温が上昇し、レジャーに最適な季節となりました。山菜採り、キャンプ、釣り、BBQなどコロナの影響でできなかったことをやる機会が増えてくるのではないのでしょうか。

傷害保険 家族プラン

一緒に住んでいる家族・別居の未婚の子なら、何歳でも何人でも1つの保険で補償します。保険料は家族全員合わせて月々4,550円です。レジャーやスポーツ中など日常のケガが補償の対象となります。

例えば

◆蜂に刺された時

◆階段で転んで骨折した時 など

	本人	配偶者	親族
死亡	350万	350万	350万
入院	5,000円	5,000円	3,000円
通院	3,000円	3,000円	2,000円

他にも、ご本人のみのプランや、夫婦プランがありますので、詳しく知りたい方はまちの保険屋さんまでお問い合わせください。

ドラレコに助けられた話



これは、本当にあった事故の話です。

Aさん： もしもし。今、事故！！信号のある交差点です。私は直進、相手は交差点の中で左から出てきて私の車にぶつかってきたの！！相手は青だった。って言ってる。

保険会社： Aさんのほうは信号何色でしたか？

Aさん： わからない。どうしたらいいですか？

保険会社： Aさんの車には、ドライブレコーダーがついてますので、警察の方に見せて確認してもらってください。

結果、Aさんのほうが青でした。ドライブレコーダーには、事故時の映像記録がありますので、相手や警察に証拠を提示するのに役立ちます。また、あおり運転の被害に遭った際も、相手車の動きやナンバーもしっかり確認することができます。従来は、前のほうしか記録することができませんでしたが、現在は360度カメラのものが登場し、後ろの方までばっちりうつります。当て逃げやいたずら防止のための防犯カメラ機能もついておりますので車に乗っていないときでも安心です。